



ソフィー ダウデスウェール
Sophie Dowdeswellさん

皆様、はじめまして！イギリスのコッツウォルズ出身のソフィー・ダウデスウェールと申します。JETプログラム※を通じ、今年8月から川崎市役所で「国際交流員」として勤めています。

高校生の時に国際母語デー（2月21日）のイベントで日本紹介の発表を聞いてから、日本に興味を持つようになりました。母国イギリスとは言語も文化もまったく違うことから、私はすぐ日本に夢中になりました。

日本のことをもっと知りたくて、独学で日本文化を研究したり、日本語を勉強したりしました。特に興味があるのは、和食の料理方法や着物、そして明治時代です。

大学では日本語・日本文化を専攻し、大学3年生の時に東京に留学できたことを今もとても感謝しています。その時の素晴らしい経験のおかげで、今回日本で仕事をする機会にも恵まれ、とてもうれしく思っています。

留学生活のことを思い出しながら、今回また日本に住めることを楽しみに来日しました。今度の日本生活は社会人として、そして初めての川崎市での生活です。イギリスの代表として頑張って、川崎市民の皆様と交流することを楽しみにしています。

どうぞよろしくお願いいたします。

※JETプログラム：「語学指導等を行う外国青年招致事業」(The Japan Exchange and Teaching Programme)の略称で、地方自治体が総務省、外務省、文部科学省及び一般財団法人自治体国際化協会(CLAIR)と協力して実施している事業。主に海外の青年を招致し、地方自治体、教育委員会及び全国の小・中学校や高等学校で、国際交流の業務と外国語教育に携わることにより、地域レベルでの草の根の国際化を推進することを目的としている。

(JETプログラム ホームページより)



川崎市国際交流センターの
あれこれ・いろいろ紹介

CENTER'S EYE

Vol. 07

川崎市国際交流センターに行こう！～世界を旅する「図書・資料室」～

入口近くの「新着本コーナー」の棚を見ながら進むと、正面に『ドラえもん』が目に入った。コミック翻訳本コーナーである。右手には2ヶ月に一度更新



される特集展示コーナーがあり、今回は「見て・読んで 楽しめる本」「世界の音楽と踊り」が展示されている。読書コーナーでは日本人のほかに、母国の生活情報を探す外国人の姿があった。

外国語で書かれている図書には英語は赤、フランス語は青、中国語はピンクといったように言語シールが貼ってある。タイ語・タガログ語・ベトナム語などの図書もある。一方、日本および海外の児童書、新聞や雑誌(『ニューズウィーク』『ナショナルジオグラフィ

ック』ほか)、外国人の方が日本語を学ぶテキストもある。

「本は国境を越え、見たことのない世界へ連れていってくれます」と語る図書館司書の資格を持つ佐藤さん。この「図書・資料室」には、国際交流や世界の国について、他より掘り下げた内容の本や資料が揃っている。こじんまりとした室内を歩きながら気になる本が見つかるのは、専門書を扱う書店のようだ。閲覧のみなので、探している蔵書があればすぐに閲覧できるのもありがたい。また、川崎市内の国際交流に関する資料も整理されている。新聞切り抜きのスクラップも充実していて、身近な国際交流を知ることができた。



「来館者と本との出会いをつなぐのが私の役割」と話す佐藤さんから「ビデオ・CD・DVD」コーナーを紹介してもらった。そして視聴覚コーナーでいつの日か訪ねたい世界遺産の旅をした。

あなたが旅したい世界と出会う「図書・資料室」が川崎にある。

(文：編集ボランティア 正一 努)

「図書・資料室」

- ◆場 所：川崎市国際交流センター 2F
- ◆開室時間：午前10時～午後8時
- ◆閲覧席：24席

※小学3年生以下のお子様は、保護者の方と一緒にご利用ください。